

第37回通常総代会開催



総代127名中、103名出席、23名書面出席、0名委任出席、1名欠席

理事長挨拶

■とき／
2022.6.21(火)
14:00～
■ところ／
ハーネル仙台
3階「蔵王」



田口正信 理事長

皆さまお疲れ様です。理事長の田口です。
東北電力生活協同組合第37回通常総代会に、それぞれの職域を代表し、総代の皆さまからご参集いただきましたこと、心から感謝申し上げます。そして、この一年間の生協事業に対する、組合員の皆さまからのご理解とご支援に、心から御礼申し上げます。
私からは、この1年間を振り返りつつ、今後の課題について触れ、挨拶とさせていただきます。

その前に、本総代会にご来賓として、全国電力生活協同組合連合会の浦野副理事長に出席を賜りました。浦野副理事長には、日頃から私どもの生協事業推進に対し、何かとご指導をいただいております。

本日のご出席と合わせ、心から御礼申し上げます。ありがとうございます。
さて、世の中の情勢を見ると、一昨年から続いている新型コロナウイルス感染症の対応の他に、ロシアのウクライナ侵攻により100年に一度起きるかどうかの苦難が二度に現れた状況にあります。
コロナ禍による様々な規制で飲食店や旅行業界を中心個人消費は落ち込みつつ、徐々に回復に向かう途上にあつて、ウクライナ情勢により、エネルギー資源の高騰や食料資源の不足を受け、今後厳しい経済状況が続くことが予想されます。
このような中、我々はウィズコロナに向けた対応を行いながら事業を展開してきました。特に会議や秋の保険・共済一斉募集の説明会において感染防止の努めつつ可能なかぎり対面での開催を基本としながらもWebを併用した対応を行うなど、許す範囲で効果的な取り組みに努めてきたところです。
そのうえで、特徴的な取り組みなどについて述べさせていただきます。
まずは、広報関係業務の見直しです。
2021年4月から生協ホームページのリニューアルと機関紙等の広報媒体の見直しをおこないました。
広報関係の業務については、広告代理店3社にそれぞれ発注していたものを、競争発注をおこない1社に絞りながら、さらにその1社に業務委託をすることにし、生協側の業務を簡素化する効率化をおこないました。また、機関紙

紙を2カ月毎の発行から6カ月毎に発行することで紙媒体を少なくし、地球環境に優しいSDGsへ貢献を意識するとともに、その代わりとして、ホームページを充実させる取り組みをおこなっています。

次に、保険の見直しです。グループ保険とアルファを統合し、新たにグループ保険「ライフ」を販売したところおかげさまで、保険料は前期比1.03%の伸びとなりました。
生協としては、胸を張ってお薦めできる商品と想って募集にあたりましたが、新商品ということもあり加入に期待と不安があるなかで、まずは順調な滑り出しにほっとしているところです。
引き続き、保険は、事業基盤に直結する事業ですので、皆さまのニーズを踏まえながら安価で良い商品提供を目指してまいります。
次に第33期の決算についてですが、昨年度の増収増益から減収増益の結果となりました。詳細については後の事業報告で触れますが、本業の事業では、特に生協カード事業が順調に推移しており、昨年度の通常総代会で、瞬間風速として旧UCカードの1か月間の取扱高を超えたことを報告しておりますが、第33期において、通期でカード事業初となる60億円を超える取扱高となりました。会員の皆様のご利用に感謝申し上げます。
その生協の2大事業であるカード事業で一番取り扱いは多いのは、東北電力の電気料金になります。しかし、

具体的には第3号議案での一案になります。が、保険商品の「リリーフ」の取扱いについて、東日本興業に代わり生協が主副の代理店となり、東日本興業が共同で取扱うことで、生協への手数料収入を増やし、事業基盤の強化を図るものです。

何分初めてのことであり、手探り状態ではありますが、これにより組合員へ不利益があらはななりません。そこで今年4月より、三井住友海上火災保険から知識・キャリアのある出向者1名を受入れ、入念な準備に取り組み、入念に

利用実態を分析したところ、生協カードで決済いただいた約30,000人、中約5,000人と1/6に落ちる。引き続き電気料金決済の利用促進とともに、様々な使実態の分析による多方向でのさらなる利用拡大に向け、取り組みを展開してまいります。それでは、今年度の特徴的な取り組みについて触れさせていただきます。

組合員サービスや福利厚生、役割は変わるものでは、この基本認識にたちはない。この発展のため、生協カード切替えをはじめ、タブリーナき様々な施策の検討をおこなってきたところですが、その一つとして、事業基盤の強化を課題として、他生協でも導入している保険代理店業を実施しました。



<来賓祝辞>
全国電力生活協同組合 浦野副理事長

三井住友海上火災保険より、更に1名出向を受け入れ、新設の保険事業に充てたい。このことと念頭をもち、このことを念頭に、議案審議をお願いしたいと思っております。

最後に、中期事業目標「エポック」の取組みが、その取り組みも今年度から、主要目標達成のため、昨年度の結果について、目標設定し、自己評価して、それぞれの支所、取り組みを改めて感謝申し上げたいと思っております。

そんな中、保険・共済の集約についても支所の負担軽減やワンストップサービスの導入が求められます。この検討をおこなうための簡素化や協力を求める強化などをおこなってまいります。



議長Ⓔ： 児玉 啓太 総代（秋田支所）
副議長Ⓔ： 佐藤 晋輔 総代（東北発電工業支所）

生協の経営基盤強化には、それぞれが主体的に取り組んでいただくことが重要です。引き続きのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、次なるステップへ弾みとなる総代会にしたいと考えております。総代皆さまからの忌憚のないご意見を願います。第37回通常総代会開催に当たったの挨拶といたします。

質疑応答

【質問】 青森支所・吉尾悠総代
LINE登録が2,488人であるが、今後の周知方法や活用方法についてどのように考えているか。

【生協見解】
LINE登録の拡大策として人気のあるコンサート・イベントのチケット応募時にLINE登録を必須としている。
また、LINE登録同様マイページ登録の拡大も課題であることからLINE登録・マイページ登録のメリットを今後も積極的に発信し登録拡大に繋げていく予定。

【意見】
登録していない人のリストを分所にいただき登録及び利用促進のPRをしていきたい。

議事

- 第1号議案 第33期 事業報告・決算報告・監査報告に関する件
 - 第2号議案 第33期 剰余金処分に関する件
 - 第3号議案 損害保険代理業に関する件
 - 第4号議案 定款変更に関する件
 - 第5号議案 第34期事業計画ならびに収支予算に関する件
 - 第6号議案 組合員の除名処分に関する件
 - 第7号議案 第34期役員報酬額決定に関する件
 - 第8号議案 退任役員記念品贈呈に関する件
- 以上が満場一致で可決されました。

【退任役員表彰者】

生協事業のためにご尽力いただきました皆さまに心からの敬意と感謝を申し上げます。

伊藤 幹男さん（山形支所）
2015年6月理事に就任
2021年10月まで
理事として重責を果たす
（通算6年4カ月）

遠藤和也さん（福島支所）
2015年12月理事に就任
2021年10月まで
理事として重責を果たす
（通算5年10か月）